

第5回 海老名市保護者負担経費検討委員会次第

日 時：平成30年3月27日（火）

15：30から

場 所：えびなこどもセンター 201会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

(1) 中学校制服・ジャージ等に関する保護者負担軽減策について

(2) 修学旅行の現状と保護者負担軽減策について

(3) 今後の予定

・第6回検討委員会

5月22日（火） 15：30～ えびなこどもセンター 201会議室

4 その他

5 閉 会

1. 中学校制服・ジャージ等の保護者負担軽減策について

市教委にて、

- 各校の制服・ジャージの仕様書を作成する。(予算措置が必要ななら補正)
- 各校の制服・ジャージの販売店・価格等をHPに公開する。

【制服・ジャージ】について

前提：各校のデザインの変更はしない。

案1 コンペの実施(学校主催)

※当面は市教委が関わるが、一定期間後は学校のみで実施することを想定

○具体的な流れ

- ・市教委にて、契約期間(複数年)、上限価格等を必要な事項の設定
 - ①各校に(仮称)制服等購入業者選定委員会の設置
(メンバー例)
校長、教頭、教務、担当教諭、PTA、(生徒、学校運営協議会代表、地域住民)等
 - ②選定委員会にて、仕様書の内容確認・コンペ実施日の決定
 - ③学校から市教委へコンペ実施を報告(日程・仕様書等必要書類を提出)
 - ④市教委にて、内容を精査後、コンペの実施を業者へ周知
※周知先・方法については、要検討
 - ⑤学校(市教委)にて、コンペ資料の受領・精査・質疑応答(質疑への回答はHPで)
 - ⑥市教委より、選定委員会へコンペ資料の配付
 - ⑦選定委員会でコンペを実施(業者からのプレゼン)
 - ⑧結果を選定委員会委員長名で業者、市教委へ通知
 - ⑨翌年度から選定した業者で購入

【公取委提言より】

- (1) メーカーが(学校側に)提示する価格は販売店への卸売価格とするよう求める。
- (2) 参加条件の中に、今の制服または他校の制服の価格と同程度以下の想定価格を提示できることを盛り込む。
- (3) コンペの際、新制服の価格を、いまの制服の価格より下げるよう要望する。

メリット

- ・複数年での契約である程度の数が見込めるため、他社の参入が期待できる。
- ・参入が増えれば、競争の原理により、価格の低減が期待できる。

デメリット

- ・結局、保護者に選択肢はない（多様性（価格は高いが品質・アフターサービスはいい、低価格低品質・アフターサービスなし等）を求める声もある。）
- ・地元業者の衰退の可能性

案2 取扱店・販売店の拡大

- ・市教委はホームページ等で広く、制服の製造、販売の参入ができることを周知する。
- ・市教委、学校は仕様書を積極的に開示、希望者へは提供をする。
- ・販売、取扱いについて、学校は柔軟に対応する。
- ・業者による、独自性、多様性を認める（価格は高いが品質・アフターサービスはいい、低価格低品質・アフターサービスなし等）。

○具体的な流れ

- ①業者より参入したい旨の申し出を受けた場合、仕様書を渡すとともにサンプルの提出を依頼する。（市教委にきた場合にも同様だが、該当校を訪問するよう伝える。）
- ②学校は提出されたサンプルの品質・金額等から販売についての可否を決定する。
- ③決定の可否を市教委に報告する。また、可の場合には、業者名・販売場所・金額も併せて報告する。

【公取委提言より】

- ・学校独自のデザインだからという理由でメーカーを指定している場合は、その指定が必要かどうかを確認する。

メリット

- ・現状の枠組みの中での対応が可能
- ・取扱店、販売店が増えることで保護者の利便性が増す。
- ・保護者の選択肢が増える可能性がある。

デメリット

- ・大幅な価格低減につながらない可能性もある。
 - ・取扱店、販売店が増えることで1店舗あたりの販売数が減り、結果、各販売店での価格が上昇する可能性もある。
- ※他市中学校では同様の取り組みで、販売店は増えたものの、全体的に価格が上昇してしまった事例あり。

【運動用Tシャツ・短パン・Yシャツ・ポロシャツ】について

- ・Tシャツについて自由化（白Tシャツなら可など）の取り組みを行っていない学校は、その導入に向けて早急に検討を行い、実施されることが望ましい。
- ・短パン・Yシャツ・ポロシャツもTシャツと同様に仕様を定めた上での自由化（紺なら可など）が望ましい。

【上履き（兼体育館履き）】について

- ・仕様を定めた上での自由化した場合、低額で購入することも可能となるが、家庭での経済的な差が見えてしまう、また、機能性が著しく低いものを使用する懸念がある。そのことから、一定の機能性の確保及び家庭の経済状況による格差を配慮し、各校ごとで統一のものの使用が望ましく、さらにコンペ実施による決定が望ましい。

各校の制服・ジャージ等の指定状況

「○」=学校指定、「×」=指定なし、「-」=取扱なし

		海老名	有馬	海西	柏ヶ谷	大谷	今泉
制服	上衣	○	○	○	○	○	○
	冬ズボン・スカート	○	○	○	○	○	○
	夏ズボン・スカート	○	○	○	○	○	○
ベスト(任意)	※着用希望の場合	○	○	○	○	○	○
Yシャツ		○	○	-	-	○	-
ポロシャツ		-	-	○	○	-	○
ネクタイ・リボン		○	○	-	-	○	-
靴下		×	×	×	×	×	×
カバン		×	×	×	×	×	×
ジャージ	上	○	○	○	○	○	○
	下	○	○	○	○	○	○
運動着		×	×	○	○	○	○
短パン		○	○	○	○	○	○
上履き	(兼体育館履き)	○	○	○	○	○	○

※Yシャツ・ポロシャツ・運動着・短パンについての指定は、販売店での「推奨品」となっている学校もありますが、実質的に指定と受け止められるものは指定としています。

2. 修学旅行の現状と保護者負担軽減策について

①行先等について

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
小学校 13 校	日光	日光	日光
海老名中	京都・奈良 54,400円	京都・奈良 49,950円	京都・奈良
有馬中	神戸・淡路島・京都 54,100円	京都・奈良 55,170円	京都・福井
海西中	石川 50,648円	青森 52,443円	滋賀
柏ヶ谷中	広島 55,700円	広島 56,275円	広島
大谷中	京都・滋賀 48,505円	奈良 53,715円	京都・滋賀
今泉中	京都・滋賀 53,800円	青森 52,181円	青森

※ [] は、別途班別行動時の交通費、拝観料等がかかります。

②行先決定までのプロセス

○小学校

修学旅行検討委員会での情報交換を参考に各校で検討。

○中学校

【1年次】 4月～ 5月 企画会議（行事委員会）等における検討・協議。

7月～10月 学年会議における検討・協議。

11月頃 候補地決定。見積依頼。

12月上旬 各社プレゼンテーション。

12月下旬 学年会議で仮決定。職員会議で承認・決定。

③保護者アンケートに寄せられた意見

- ・学校ごとに行き先が違うので保護者の意見と子供の意見を取りいれてほしい。
- ・価格抑制も大事ですが、現在の民泊方式は聞いていると 行き先、民泊先によって体験に差があるように思います。
- ・中学の修学旅行ですが、民泊農作業も役立たつかもかもしれませんが観光も入れて、学んで欲しいとおもいました。
- ・民泊はいいと思いますが、泊まる場所で違いが出て、金額に見合わなかったりすると思う。
- ・班に分かれて個人宅に宿泊はとても、良い経験になったようです。
- ・体験学習&宿泊も良いが、日本の文化遺産等、昔ながらの観光も良いと思う。
- ・価格抑制で、子供たちが不満を感じる旅行にならないように、お願いします。